

kyndryl.

キンドリルのクラウド・ アーキテクチャー・デザイン

デプロイの成功を高めるための
技術戦略と段階的な計画を含む
ロードマップをキンドリルが
提供する方法



クラウド・アーキテクチャー・デザインを採用しているITリーダーの74%が、クラウド・アーキテクチャーが企業のクラウド・ジャーニーの成功にプラスの影響を与えたことに同意しました¹

ハイブリッド・マルチクラウドの採用を成功させるには、しっかりとした計画が必要だからです。詳細な計画がないと、ワークロード展開と配置のポリシーに一貫性がなくなる可能性があり、クラウド・ジャーニーの成功を阻害します。この阻害は、IT資産全体に影響します。インフラストラクチャー、セキュリティー、レジリエンスの複雑さの増大により、推進力がさらに遅くなり、意図しないリスクを生み出します。

しっかりとした計画は、明確な技術戦略、ターゲットのアーキテクチャー、関連するコンポーネントの設計、ビジネス要件を満たし、ワークロードを保護し、アーキテクチャー上の決定に対処し、一貫した管理を可能にするロードマップで構成されます。また、該当する場合はオープンテクノロジーの柔軟性を備えた、現在および将来の投資をサポートする可能性があります。

しっかりとしたクラウド・アーキテクチャー・デザインとは何か？

しっかりとしたクラウド・アーキテクチャー・デザインとは、阻害要因を軽減するために必要なガイダンスを提供するきちんとした計画を指します。それは、お客様が、ビジネス価値の向上、柔軟性、収益の成長、コスト管理のためのクラウド間の動きと一貫した管理を達成するのに役立ちます。きちんと計画を立てている企業は、すべての目標において非常に高いレベルの成功を示し、クラウドへの移行から望ましい向上を達成する可能性が高く、クラウド・ジャーニーで経験した課題に対処し、軽減できます。²計画を立てている企業の95%は、「きちんとしたクラウド・アーキテクチャー・デザインは、クラウド・ジャーニーの成功率を向上させ、ビジネス価値を最大化するのに役立つ」と述べています。¹

ITリーダーは、クラウド・アーキテクチャー・デザインで次のことが可能になると述べています。

- セキュリティーの強化
- 可用性の最大化
- ハイブリッドITおよびクラウド環境全体でワークロードを統合する機能の向上
- 複雑さの軽減と標準化の向上



93%のクラウド・アーキテクチャー・デザインをもつ企業が、従来型とクラウドの両方でビジネス・クリティカルなシステムを保護する方法が分かると答えました。たった**50%**のクラウド・アーキテクチャー・デザインを持たない企業だけが同じように回答しました。¹



98%のきちんとしたクラウド・アーキテクチャー・デザインを採用している調査対象の企業は、クラウドへの移行時にビジネスの可用性と稼働時間の合意が「うまく/または非常にうまく達成できている」と答えています。しかし、しっかりとした設計なしでクラウドに移行した回答者の**16%**は、可用性の目標を「全くうまく達成していない」と述べています。¹



クラウド・アーキテクチャー・デザインへのアプローチ

キンドリルは、お客様のビジネス要件と技術ニーズを把握することにより、セキュリティ、レジリエンシーおよび管理モデルをビジネス対応の計画に統合する、インフラストラクチャーとプラットフォーム戦略、ロードマップおよび理想的な設計を提供します。

私たちは従来の投資を維持し、企業がハイブリッド・マルチクラウド・モデルから利益を得ることができるようにする、ハイブリッド・クラウド・ソリューションの必要性を認識しています。私たちのアプローチは、あらゆるテクノロジーをサポートするように設計されており、ビジネスニーズを満たすために複数のクラウドベンダーを採用しているお客様に最適です。ハイブリッドIT環境の課題と複雑さを理解することにより、キンドリルは、クラウドのみのニーズを超えた独自の価値を提供します。

独自のビジネスニーズに基づいた、理想的な設計をスコープ決めをするためのワークロード主導のアプローチにより、ビジネス価値を最大化するように設計されたクラウド変革を実現できるマルチベンダーの選択肢が提供されます。

キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインの成果

図1に示すように、キンドリルの専門家がお客様と協力してクラウド・ジャーニーを加速します。概念実証 (PoC) によって検証されたこのアプローチには、マルチクラウド管理、自動化およびコンテナの採用が含まれ、以下のコンポーネントと結果を提供することでIT環境を最新化するのに役立ちます。



86%のクラウド・アーキテクチャー・デザインを採用している企業が、ハイブリッド、クラウド、IT環境全体でワークロードを統合でき、この目標を「極端にうまく/または非常にうまく達成した」と述べています。**41%**のクラウド・アーキテクチャー・デザインを行っていない企業は、この目標をまったく達成していないことに同意しました。¹



44%のクラウド・アーキテクチャー・デザインを採用している企業が、クラウド・ランドスケープ全体で「非常にうまく」標準化を達成していると述べています。わずか**7%**のクラウド・アーキテクチャー・デザインを持たない企業しか、目標を「極端にうまく達成している」と述べていません。¹

キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインの価値を実現するまでの時間

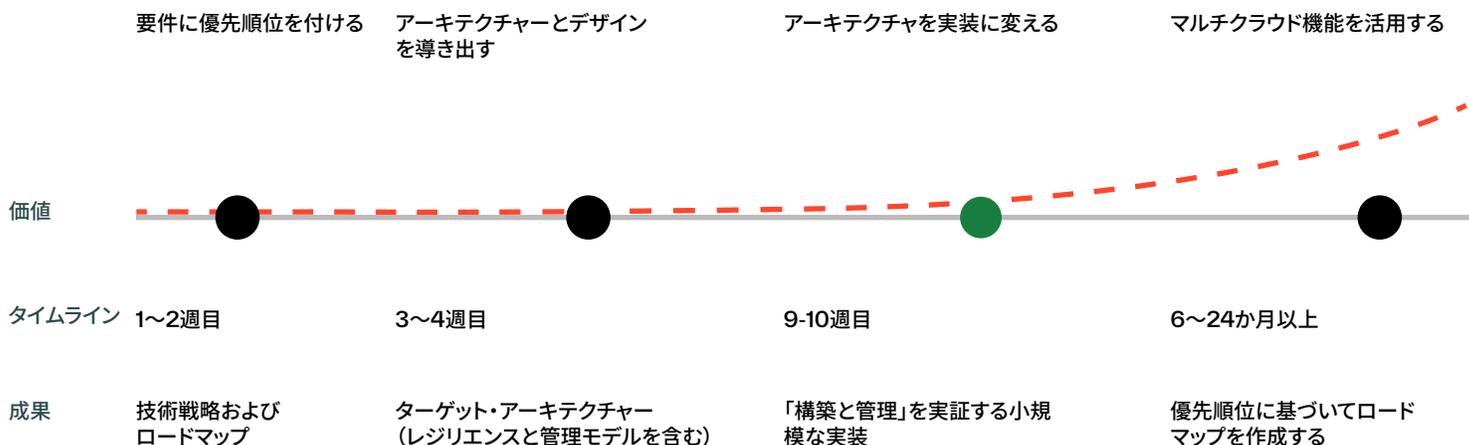


図1. キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインの価値を実現するまでの時間



コンポーネント

クラウドの技術戦略とロードマップは、お客様のニーズを満たすハイブリッド・マルチクラウド・ソリューションの技術戦略とアプローチを定義します。このコンポーネントをクラウド・テクノロジー・アーキテクチャーと組み合わせると、要件を網羅するターゲットのクラウド・ソリューションの実装可能なデザインを実現できます。

クラウドサービス管理アーキテクチャーは、複雑なマルチクラウド・ランドスケープを一貫して効果的に管理するための技術モデルを生成します。

クラウド・レジリエンシー・アーキテクチャーはビジネス要件に合わせたレジリエンス機能を統合し、マルチクラウドで実行される重要なワークロードと、ビジネスとIT戦略をリンクする従来の環境で相互依存するワークロードを保護します。



成果

ビジネス価値に合わせた技術戦略、オープンスタンダードに基づくコストと柔軟性の最適化、およびワークロードに最適なサービス階層と展開を提供するアーキテクチャーと設計。

統一された一連の機能とスキルに基づく管理フレームワークと推奨されるツール・セット。

ワークロードの固有のニーズに基づいた段階的なレジリエンス機能を備えたレジリエンス・テクノロジー・プラットフォームで、セキュリティ機能と強化されたコンプライアンスに加えて、レジリエンス、可用性およびリカバリーを統合することにより、重要なワークロードをサポートおよび保護します。

お客様導入事例

01

体系的なアプローチを使用して、ワークロード展開のニーズを満たすためのテクノロジーの選択を定義します

課題:組織に既存のIT投資を拡張するための異種のアドホック計画がある場合、ワークロードの配置が最適ではなく、IT資産の複雑さが増し、競争力を維持する能力が不足しているため、クラウドの価値を十分に発揮できません。

ソリューション:キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインは、サービスレイヤーの選択、展開モデルのオプション、クラウドサービス・プロバイダーの選択を分離するなど、ワークロードの配置を決定するための体系的なアプローチを提供するのに役立ちます。このアプローチにより、お客様は、現在および将来のワークロード配置に最適なテクノロジーを定義し選択できます。

ビジネス上のメリット:堅実な戦略とサポートする意思決定モデルにより、お客様は、新たなテクノロジー、サービス、サービス・プロバイダーを検討する際に、新しいレベルの俊敏性を手に入れることができます。技術戦略ロードマップは、お客様が、4週間以内に最初のプラットフォームの選択を完了し、クラウド・ジャーニーを加速し、クラウド・ネイティブ機能を使用する能力を向上させるのに役立ちます。

02

カスタマイズされたハイブリッド・マルチクラウド戦略により、コストを削減し、レジリエンスを簡素化します

課題:多くの企業は効果的なレジリエンス戦略とアーキテクチャーを設計するために必要な社内のスキルとリソースを欠いており、これは、計画外の混乱が発生した場合でも事業運営を継続する能力に影響を与えます。

ソリューション:キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインは、急速に成長するフットプリント全体を、独自のビジネスニーズに合わせて、ハイブリッド・マルチクラウド戦略を提供できます。クラウドベースのレジリエンスをDisaster Recovery as a Service (DRaaS)、Backup as a Service、Infrastructure as a Service (IaaS) と統合することにより、この戦略は、ビジネスを保護し、最新のクラウド・プラットフォームによって可能になる組織の変革に関連するリスクを軽減するのに役立ちます。

ビジネス上のメリット:厳格な規制要件とコンプライアンス要件を考慮した、新規アーキテクチャーを使用し、効果的なレジリエンス・デザインをより迅速に完成します。災害復旧テストとリカバリー・タイムラインを大幅に短縮し、コンプライアンスのための自動監査証跡を生成し、予測可能な結果を伴う反復可能なレジリエンス・テストを可能にします。

03

統合アーキテクチャーを使用して、クラウドサービス・プロバイダー間でワークロードのポータビリティを実現します

課題:最適ではないワークロードの配置が原因で、クラウドの価値を最大限に引き出すことができないことは、組織において頻繁に起こります。ベンダー・ロックインの結果としての制約により、ペースを維持し、新しい機会を活用する能力がさらに制限されます。

ソリューション:キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインを使用すると、組織はハイブリッド・マルチクラウド環境全体の展開を管理するための一貫したアプローチを提供する統合アーキテクチャーを作成できます。

ビジネス上のメリット:オープンでスケーラブルなハイブリッド・マルチクラウド環境を提供してクラウド資産全体のワークロードを調整するITインフラストラクチャーと運用を変革することにより、複雑さの軽減、収益の増加およびコスト管理の強化を支援できます。

04

プラットフォームと展開全体で統合された管理ビューを通じて、効率を向上させる

課題:ベンダーロックインによって制約されると、組織は管理を断片化し、企業とクラウドサービス・プロバイダー全体の可視性を欠き、生産性と人材の確保に悪影響を及ぼします。

ソリューション:キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザイン・アプローチは、新しいテクノロジーとサービスを活用し、運用の複雑さを軽減するのに役立つ、管理フレームワークを作成します。結果として得られる環境全体の統合ビューは、サードパーティまたは自己管理ソリューションとして実装できるため、組織は必要に応じて適応できます。これらの設計は、企業全体でのクラウド使用に関する分析とレポートを改善する機会も提供します

ビジネス上のメリット:マルチクラウドのニーズに対応するためにITインフラストラクチャーと運用を効果的に管理する機能により、組織はクラウド支出のコスト削減を体験できます。プラットフォーム間で一貫性のある単一画面ビューにより、組織は、シームレスな可搬性と可視性を備えたワークロードを調整および管理できます。

「完全なロードマップを用意しておくことが重要です。そうすることで、集中力を維持し、必要以上に購入して消費することなく、スタッフのタスクを維持し、タスクを適切にスキルアップできるようになり、適切な管理と全体的な複雑さの軽減が保証されます。」

— CIO、金融サービス業界³

クラウドの採用を成功させることは、企業が競争力を維持するために重要です。そのため、十分に計画された戦略も重要です。ハイブリッド・マルチクラウドIT環境の管理に対する私たちのアプローチは、達成可能な計画、作業設計およびクラウドへの移行をスピードアップし、試行錯誤を最小限に抑えるのに役立つ概念実証 (PoC) に基づいています。

キンドリルのクラウド・アーキテクチャー・デザインがビジネス価値、柔軟性、収益成長、およびコスト管理を向上させるための包括的な技術戦略、アーキテクチャー、およびロードマップをどのように提供できるかについて、詳しくはキンドリルの担当者にお問い合わせいただくか、kyndryl.comをご覧ください。

詳しくはこちら →



Kyndrylは、 国もしくはその他の国におけるKyndrylIncの商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれKyndrylIncまたは他社の商標である場合があります。本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時 なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業 するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および 約に基づき保証されます。記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的のみ提供されています。実際の結果は特定の構成や 条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および 約に基づき保証されます。

1 How cloud architecture design accelerates cloud deployments, IBM Services, 2020年3月。

2 クラウド時代のITの更新: CIOが今取っている10のステップ, Forbes Insights, 2019年。

3 Cloud Architecture Design, IBM Market Development and Insights, 2019年10月。